富士山水まつり

28日、遊びや食、学び

富士宮市の「第4回富士山水まつり」が28日（日）午前9時半―午後3時、富士山本宮浅間大社境内の神田川ふれあい広場で開かれる。富士山の恵みとなる豊かな水資源の大切さを再認識してもらうため、遊びや体験、食、学びの多彩なコーナーを設ける。小雨決行、雨天中止。

平成26年の「水循環基本法」の施行に伴って制定された8月1日の「水の日」に合わせて、市と関係機関、団体、事業者などが連携して始めた祭り。水は生命の源であり、絶えず地球を循環し、全ての生態系に多大な恩恵を与え、市でも自然景観、産業、観光、日々の生活などで、富士山の豊富な地下水の恩恵を受けていることから企画した。

遊びでは「ラフティングボードで神田川を川下り」を午前9時45分から実施する。対象は中学生以下（保護者と子供は同数まで同乗可）。神田川上流の親水階段から御手洗橋までの約90㍍を下る。

フード・物販コーナーでは地元店が参加し、アイス、ピザ、お茶、汁粉、クラフトビール、ニジマスの唐揚げ、サザエのつぼ焼きなどを販売する。

企業展示コーナーでは富士宮市の水を使った製品や水の意外な使われ方を紹介するほか、水を育む森づくりにも目を向けてもらう。

景品の当たるクイズラリー（先着100人）、水生生物の展示、おいしい水道水の啓発（給水車の試飲体験）などもある。問い合わせは花と緑と水の課（☎0544221169）。

信長公黄葉まつり出店募集

露店やフリマ

富士宮市の富士山西山本門寺で11月10日（日）に開かれる「第20回信長公黄葉まつり」に向けて、実行委員会は出店者を募集している。

出店場所は黒門付近の参道で、時間は午前9時―午後3時半。募集しているのは露店60区画、フリーマーケット15区画を予定。ともに1団体2区画まで申し込み可。出店料は1区画につき露店が500円、フリーマーケットが1000円。

希望者は申込書と誓約書などを市ホームページまたは祭りのオフィシャルブログからダウンロードし、必要事項を記入して、実行委事務局に提出する。問い合わせは実行委（☎0544650273、芝川商工会内）。締め切りは露店が8月9日（金）、フリーマーケットが9月30日（月）。

信長公黄葉まつりは、戦国武将織田信長の首塚伝説がある富士山西山本門寺で、境内の大イチョウが黄金色に染まる時期に合わせて毎年行われている。食を中心とした多数の露店やフリーマーケットが並ぶ中で、武道や古典芸能、武者行列、火縄銃演武などの歴史イベントを繰り広げ、毎年好評を得ている。

都市計画マスタープラン掲載する写真を募集

富士宮市は「富士宮市都市計画マスタープラン」に掲載する写真を募集している。「まちを楽しみ未来につなげる」と題し、市の豊かな自然やまちを舞台に、みんなが楽しく暮らし、生き生きとした活動が伝わる情景、無邪気な子供たちの笑顔あふれる写真の応募を呼び掛けている。

応募資格は市内在住、市内の事業所や学校に通勤・通学している人。作品の条件は▽撮影場所は市内に限定。ただし背景の対象となる場所が市外にある場合でも結構▽応募者本人がおおむね1年以内に撮影した未発表のものに限る▽1人につき2点まで応募できる▽合成写真または組写真は対象外。

問い合わせは都市計画課計画係（☎0544221166）。メール、郵送、窓口で応募を受け付けている。必要事項はタイトル、撮影場所、コメント（100字以内）、氏名、住所、年齢、電話番号またはメールアドレス。締め切りは10月31日（木）。

都市計画マスタープランはまちづくりの基本方針を定めており、市では改定に当たり、市民のまちづくりへの興味・関心を育む取り組みの一環として写真を募集。応募作品は市で選考した上で、計画書の表紙や中表紙、裏表紙などに掲載する。

西公民館で脳トレ運動講座

8月から第1火曜

富士宮市は、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らせるようにと各地域で「脳トレ運動講座」を実施しており、8月から新たに神田川町の西公民館が加わる。内容は認知機能低下予防の運動（コグニサイズ）や脳活性化のレクリエーション。

開催は第1火曜の午前9時半―11時（来年3月まで）。対象は60歳以上の市民。申し込み不要で受講料は無料。講師は脳トレの会。持ち物は水分補給の飲み物、動きやすい服装。見学も大歓迎している。問い合わせは市健康増進課（☎0544227727）。

フリーペーパー創刊

高校会議所と加和太建設

富士宮高校会議所と市内でレストラン「マウントフジブリューイング」を運営する加和太建設はこのほど、フリーペーパー「コノハナタイムズ」を創刊した。

まちのにぎわい創出に向けたコラボ事業。A3両面カラー4ページ。内容は富士宮を舞台にした超短編小説「転校生のサクヤさん」、市街地周辺のまち歩きガイド、富士宮高校会議所のメンバーによる改元に対するミニエッセー、市内でハーブ&ジャム工房を営む松本成章さんへのインタビューなど。

取材・編集は富士宮高校会議所と加和太建設、デザインは加和太建設デザイン室が担当。6000部を発行し、取材協力先、市内公共施設、高校や中学、加和太建設直営施設などで配布している。年3回ほど発行する予定。

富士宮高校会議所は高校生の視点で地域振興や地方創生、地域ビジネスの手法について実践を通して学んでおり、このほど市民文化会館で開かれた中央図書館開館30周年記念講演会の手伝いをした。

講師は市内出身で、旅、雑貨、建築、菓子、音楽、暮らしなどの著作で人気の文筆家・甲斐みのりさん。「好きに囲まれて暮らすコツ～私たちの生まれた町～」をテーマとしたことから、今後の活動に生かした。

メンバーらは甲斐さんの書籍の販売を手伝ったほか、終了後には、富士宮高校会議所が開発した商品のデザインや内容についてアドバイスを得た。

フリーペーパーを取材協力店「きくや」（西町）に配布（上）講演会終了後に甲斐さんからアドバイスを得る（下）＝提供写真

8月にガラス工房の作品展

芸術空間あおき

富士宮市青木平の芸術空間あおきで8月1日（木）―15日（木）、福島県のガラス工房studioRISAの作品展が開かれる。

西郷匡史さんと難波立子さんが、日常使いできるガラスの器やアクセサリーなどを出品する。吹きガラスを中心に生活が少し豊かになるようなーという制作をしている。

午前10時―午後5時半。会期中は無休で、毎月16日―末日が定休。☎0544237735。

同ギャラリーの屋久綾乃さんを講師とした各種教室の生徒も募集している。

終活・葬儀はおまかせください
地域一番の低価格にてご奉仕
費用を抑えた温かいご葬儀をへいせい友の会に
入会されますと入会金1万円で（年会費・掛金一切無し）
ご本人様以外にご家族様全員が永久会員
ご利用会員の皆様に高評価を頂いております。
セレモニーホール
平成記念館
富士市伝法2331　FAX.0545-53-1195　24時間対応
TEL.0545-53-1194

★富士・富士宮のポータルアプリ
まめふじ
イベント＊お店＊インスタ＊facebook
最新ニュースをスマホに配信!!
ダウンロードはこちらから

家族葬から大型葬まで
ご希望に応じて幅広くご利用頂けます
お得な特典多数
そなえ名人会員様・組合員様
年金友の会会員様
葬儀事前相談受付中（無料）
まずはお電話ください。
やすらぎ会館
富士市青島200-1
駅南会館
富士市宮島146-1
メモリアルホール
富士市中之郷856-75
●お問い合わせ（24時間年中無休）●
JA富士市 やすらぎ
0120-190-940
☎0545-55-0983　FAX0545-55-4343